

1 分野 地理的分野

2 学年 第2学年

3 単元名 「日本の諸地域 ―近畿地方―」

4 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会（平成20年）の内容項目「(2)日本の様々な地域」の中項目「ウ日本の諸地域」を単元化したものである。この中項目は、日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、七つの考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせることがねらいとなっている。「日本の諸地域」の学習について、中学校学習指導要領解説社会編（平成20年）では、諸地域の単なる地誌的知識の習得に偏重した学習に陥ることがないようにし、地域的特色を動的にとらえさせるようにすることが大切であると述べられている。動態地誌的な学習とは、取り上げた地域における特徴的な事象とその動きに着目し、他の事象を有機的に関連付けるかたちで追究する学習方法である。動態地誌的な学習は、中核となる事象がなぜこの地域で見られるのかという視点で追究していく学習であるので、生徒の思考力を高めることができる。

本単元では、近畿地方を取り上げ、学習指導要領に示された七つの考察の仕方のうち「歴史的背景を中核とした考察」によって、近畿地方の地域的特色をとらえさせる。近畿地方は、古くから日本の政治、文化の中心地として栄え、歴史的に形成されてきた町並みや文化財を多く見ることができる地域である。また、この地域に残る文化財は、歴史的分野の学習でも取り上げられるため、分野間の学習を相互に関連付ける学習を行うことができる。

(2) 生徒観

本学級は、積極的に社会科の学習に取り組む生徒が多い。しかし、地理的分野の学習において、地理的事象を個別的な知識として暗記するだけにとどまっている生徒が多く見られる。「日本の諸地域」の学習についても、多くの生徒が、学習対象の地域に見られる様々な地理的事象を羅列的に暗記することとどまり、学習地域の地域的特色を自ら追究することができていない。また、地理的事象に関する様々な情報を見つけ出すことはできても、それらに関連付けて考察することは苦手であり、学習対象の地域的特色を自然環境、社会環境と結び付け、それらの関連を整理しながら考察することが十分にできていない。

(3) 指導観

指導にあたっては、中核となる事象と他の事象がどのように関連しているのかを追究することによって、近畿地方の地域的特色を理解できるように授業を構成する。

近畿地方は、古くから形成されてきた町並みなどの歴史的景観が多く残っており、多くの観光客が国内や国外の他の地域から訪れている。第一次では、学習地域における中核となる事象を見いだす段階として、近畿地方に関する様々な資料を読み取ることを通して、考察の中核となる事象を見いださせる。

第二次では、中核となる事象について他の事象と関連付けて追究する段階として、「なぜこの地域に歴史的景観が多く残されているのか」「歴史的景観を保護するためにどのような取組が行われているのか」「歴史的景観を保護することがどのような影響を与えているのか」などの問いによって考察させる。考察にあたっては、歴史的背景、行政や企業の取組、地域の産業や人々の生活などと関連付けることを通して、この地域で歴史的景観を保護する取組が進んでいる理由を、文化財の持つ歴史的価値の継承や観光による経済効果などの観点から考察させる。

第三次では、歴史的景観の保護と開発との間で議論がされている地域や、開発によって歴史的景観が失われつつある地域と比較することによって、地域間に見られる共通性と近畿地方に見られる特殊性をとらえさせた上で、本単元の学習内容をまとめさせる。

## 5 単元の目標

近畿地方に見られる歴史的景観を中核となる事象として取り上げ、それを歴史的背景、地域の産業や人々の生活などと関連付けて考察することを通して、歴史的価値の継承や観光がもたらす経済効果から歴史的景観を保護する取組が進められているという近畿地方の地域的特色を理解する。

## 6 単元構成（全5時間）

一次：近畿地方の概要

近畿地方の主な都市の景観

二次：歴史的景観の保護と行政・企業 【本時】

歴史的景観の保護と人々の生活

三次：学習のまとめ

## 7 単元の評価規準

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断・表現	ウ 資料活用の技能	エ 社会的事象についての知識・理解
近畿地方の地域的特色に対する関心を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	近畿地方で歴史的景観が保護されている理由を、行政・企業・地域の人々の取組と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	近畿地方の地域的特色に関する様々な資料から、有用な情報を適切に読み取っている。	近畿地方に関する基本的な知識を身に付けるとともに、歴史的背景を中核とした考察を基に近畿地方の地域的特色について理解している。

## 8 単元の指導計画（全5時間）

次	時	学習内容	評 価				評価規準	評価方法
			関	思	技	知		
一	1	近畿地方の概要 ○地図帳や統計資料を活用して、近畿地方の基本的な知識を習得する。			◎	○	・地図帳や統計資料から、近畿地方の地形、府県や主要都市の位置、産業の特徴などを適切に読み取り、近畿地方に関する基本的な知識を身に付けている。	行動観察 ワークシート
	2	近畿地方の主な都市の景観 ○単元において考察する中核となる事象を見いだす。	◎				・大阪・神戸と京都・奈良の各都市の景観の違いについて、意欲的に追究し、とらえようとしている。	
二	3	歴史的景観の保護と行政・企業 ○歴史的景観が保護されている理由を考察する。【本時】		◎			・歴史的景観が保護されている理由を行政・企業の取組と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	行動観察 ワークシート
	4	歴史的景観の保護と地域の人々 ○歴史的景観が保護されている理由を考察する。		◎			・歴史的景観が保護されている理由を地域の人々の取組と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
三	5	まとめ ○他地域と比較して、近畿地方の地域的特色をまとめる。		○		◎	・他地域と比較して、共通性や特殊性について考察し、近畿地方の地域的特色について理解している。	行動観察 ワークシート

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

京都市で歴史的景観が保護されている理由を行政・企業の取組や観光産業と関連付けて考察し、歴史的価値の継承や歴史的景観がもたらす経済効果から歴史的景観の保護が進められていることを理解する。

(2) 学習の展開

学習過程	主な発問	主な学習活動	評価規準・評価方法	資料
導入	<p>○次の写真を見て気付いたことを発表しよう。</p> <p>○なぜ京都市では、店の看板や外観が目立たないものになっているのだろう。</p>	<p>●普段見慣れている飲食店の看板やコンビニの外観との違いを読み取る。 ・目立つ看板や外観ではない。</p> <p>●集客の点から考えて目立つ看板や外観の方が有利だが、なぜ目立たないものにしてあるのか、その理由を予想する。</p>		<p>◆写真 (京都市で見られる飲食店の看板など) ◆フラッシュカード</p>
<p><b>本時のねらい： 京都市では、なぜ目立たない看板が多く見られるのだろう。</b></p>				
展開	<p>○2枚の写真を比べて、違うところを見つけよう。</p> <p>○なぜ京都市では、このような景観が多く見られるのだろう。</p>	<p>●京都市の景観写真と他の都市の景観写真を比較し、景観の違いに気付く。 ・看板や電柱の有無 ・建物の高さの違い</p> <p>●歴史的景観を後世に受け継いでいくことを目的として、法律や条例が定められ、都市全体の景観が保護されていることを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>習得する知識、概念 ◇歴史的景観を後世に伝える意義</p> </div>		<p>◆写真 (京都市役所付近の景観写真など)</p> <p>◆資料 (古都保存法・京都景観条例など)</p>
開	<p>○なぜ飲食店やコンビニは、法律や条例の規制よりも目立たない看板や外観にしているのだろう。</p>	<p>●統計資料や既習の学習内容と関連付けて、企業が景観の保護に積極的に取り組む理由について考える。 【形態】個人思考⇒グループワーク</p> <p>・京都を訪れる人の多くが、京都の文化財を観光することを訪問の目的としている。 ・毎年、京都市には多額の観光収入がもたらされている。 ・コンビニの外観を景観に配慮したものに改装した結果、話題になって、店舗の売りが上昇した。 ・企業には、経済活動を行う地域に対して、果たすべき責任がある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>習得する知識、概念 ◇歴史的景観がもたらす経済効果</p> </div>	<p>□歴史的景観が保護されている理由について、行政・企業の具体的な取組と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ◇ワークシート ◇行動観察</p>	<p>◆統計資料 (京都市の観光統計、コンビニの集客に関する資料など)</p>
まとめ	<p>○分かったことをまとめよう。</p>	<p>●歴史的景観が残る地域では、歴史的景観を後世に伝えるとともに、地域全体が観光により利益を得ているため、歴史的景観の保護に積極的に取り組んでいることを理解する。</p>		